

《事故情報》

可燃性ガス排出作業中に爆発死亡事故

(一社) 大阪府高圧ガス安全協会
事務局

令和5年11月2日(木)午後2時頃、装置から可燃性ガス(メタン又は水素)排出作業中、なんらかの原因で引火し、作業員1名が死亡した爆発事故が発生しました。

これから年末年始に向けて装置のメンテナンス、装置の停止/起動など非定常作業が多くなります。作業手順確認とその徹底、KY活動・リスクアセスメント活動などを行って事故防止に努めてください。

事故原因の詳細は不明ですが、本事故の状況から学べる教訓を職場で考えていただき、自主保安力の強化に役立てていただきたく、情報を配信させていただきます。

1. 事故概要

- (1) 発生日時：令和5年11月2日(土) 午後2頃
- (2) 発生場所：山口県周南市開成町「東ソー・エスジーエム新南陽工場」合成棟
- (3) 物的被害：合成棟の壁の一部破損
- (4) 人的被害：作業員1名が死亡、1名がかすり傷など軽傷 計2名
- (5) 事故原因：報道では「半導体製造装置などに使用される「石英ガラス」を試作していた。石英ガラス製造装置停止後、配管に残っていた可燃性ガス(メタン又は水素)排出作業中、何らかの原因で引火したとみられる」と記載されています。

2. 報道記事(添付します)

- (1) インターネット情報
「東ソー 爆発事故」で検索すると出てきます。

以 上

山口・周南の工場で爆発、1人死亡 可燃性ガス排出作業中に引火か

毎日新聞 によるストーリー ・ 14 時間



爆発があった東ソー・エスジーエム新南陽工場 = 山口県周南市で2023年11月2日午後6時17分、本社ヘリから北村隆夫撮影
© 毎日新聞 提供

2日午後2時ごろ、山口県周南市開成町の「東ソー・エスジーエム新南陽工場」合成棟で爆発事故があり、その場にいた男性社員（47）が頭を強く打ち死亡、別の男性社員（51）がすり傷など軽傷を負った。山口県警周南署と地元消防が爆発の原因などを調べている。

東ソー・エスジーエムは、半導体製造装置などに使われる「石英ガラス」などを製造している。同社によると、爆発当時、社員2人は石英ガラスを試作中で、製造装置の運転を止めて配管に残っていた可燃性ガスを排出する作業をしていた。何らかの原因でガスに引火したとみられる。火災は発生しなかったが、合成棟の壁の一部が損壊した。

同社は総合化学メーカー「東ソー」（周南市）が100%出資する子会社。新南陽工場は、JR新南陽駅（同市）南側の東ソー南陽事業所の一角にある。【峰下喜之、福原英信】



東ソー 関連会社の工場で爆発 47歳の作業員が死亡 山口 周南

2023年11月3日 4時17分 事故

2日午後、山口県周南市にある総合化学メーカー、東ソーの関連会社の工場で起きた爆発事故で、心肺停止の状態になっていた47歳の男性作業員の死亡が確認されました。

2日午後2時ごろ、周南市にある東ソーの関連会社の工場で「爆発事故があった」と消防に通報がありました。

この事故で2人の男性作業員が病院に搬送され、このうち山田剛司さん（47）が心肺停止の状態になっていましたが、その後、死亡が確認されました。

また、もう1人の50代の男性も切り傷などを負ったということです。

爆発が起きたのは東ソーの関連会社「東ソー・エスジーエム」の新南陽工場で、会社によりますと、爆発したのは可燃性のメタンか水素とみられ、周辺の建物などへの被害はありませんでした。

現場では当時、石英ガラスを製造するために試作した装置を動かそうと可燃性ガスを外に出す作業をしていたということで、警察によりますと火災やガス漏れはなく、今後、被害が拡大するおそれはないということです。

周南市の東ソーの敷地内では2011年11月、東ソー南陽事業所で爆発を伴った火災が起き社員1人が死亡しています。